

## 活動報告（5月レポート）

担当：静岡県西部農林事務所 農村整備課

表題：久留女木棚田で綿花の種まきが行われました

日時：令和5年5月14日（日）

場所：静岡県浜松市



（種まきの様子）

5月14日（日）、浜松市北区引佐町にある久留女木棚田で綿花の種まきが行われました。

大河ドラマ「おんな城主 直虎」の舞台となった久留女木棚田は、令和4年に「つなぐ棚田遺産」に選定されており、耕作者・地元企業・大学等が組織する久留女木地域振興協議会が保全活動を行っています。

今回の種まきは、当協議会と地元アパレル企業HUIS（ハウス）との新たな取組で、棚田内の耕作放棄地（170㎡）で綿花を栽培し、伝統ある遠州織物の生地を生産することで地域活性化を試みます。

このタッグは、当協議会の活動の一環である久留女木棚田塾（年間を通して棚田の耕作を学ぶことができる）に参加した塾生が渡し舟となって生まれました。

当日は雨でしたが、子供を含む約30名が参加し、初めて見る棚田の風景にはしゃぎながら一所懸命に綿花の種まきを行いました。

綿花は、9月から11月ごろに収穫され、遠州地域の織布企業との連携で遠州織物となり、シャツやワンピース等の製品に仕立てられる予定です。

西部農林事務所では、今後も棚田の保全活動を支援していきます。